



カテゴリ: 地域活性化

北海道余市・仁木エリアのワインと食材を堪能できる 「ドメーヌ・タカヒコ」メーカーズディナーとワイナリーツアーを実施します

～ 2024年1月30日(火)14:00 先着24名さま限定で販売開始～



JALは、「[JALふるさとプロジェクト](#)」の一環として、地域に眠る食材や産品を紹介しその地域への興味関心を喚起することで、地域への誘客に取り組んでいます。

このたび、「ドメーヌ・タカヒコ」^(*)の曾我貴彦氏、ご本人が厳選したワインと食材のペアリングを味わっていただけるメーカーズディナーを堪能し、「ドメーヌ・タカヒコ」を含む北海道余市・仁木エリアのワイナリーを巡るツアーを1月30日(火)14:00からJALダイナミックパッケージで販売します。

(*)「ドメーヌ・タカヒコ」とは

日本ワインシーンを牽引するワイン葡萄生産者で醸造家、曾我貴彦氏のワイナリー。自身のワイン造りの地を北海道余市町に定め、余市町内2番目のワイナリーとして2010年にオープン。この動きを契機に余市町ではワイナリーが増加に転じ、今では世界に誇るワイン銘醸地として注目されることとなった。



曾我 貴彦氏



「ドメーヌ・タカヒコ」



料理イメージ

ツアーの1日目は、曾我貴彦氏、ご本人の解説を交えて、ワイン8種(予定)とJRタワーホテル日航札幌の北海道食材をベースにしたコース料理のペアリングディナーをご堪能いただきます。

「ドメーヌ・タカヒコ」のフラッグシップである「ナナツモリ・ピノノワール2021」とバックビンテージとの比較や、貴腐の附着したピノノワールのみで発酵を行った辛ロスティルワイン「ナナツモリ ブランドノワール2020」など、貴重なセレクションの提供も予定しています。この機会に、希少性の高い「ドメーヌ・タカヒコ」の世界観と北海道食材の饗宴をお楽しみください。

ツアーの2日目は前日のメーカーズディナーの余韻の残るまま、専用車で余市町・仁木町へ向かい、普段は一般公開されていない「ドメーヌ・タカヒコ」のワイナリーを見学します。「モンガク谷ワイナリー」では複数のぶどうと一緒に醸造(混醸)する「フィールドブレンド」のスタイルが特徴で、人と自然が共存する循環型農業の実践を目指す現場を体感いただけます。昼食は、日本屈指の複合型ワイナリー「NIKI Hills Winery」で眼下に広がる雪景色のブドウ畑を眺めながら、季節や土地にインスピレーションを得た、詩的な料理とペアリングワインをゆったりとした空間で心ゆくまでお楽しみください。

雪の下で気持ちよさそうに眠るぶどうの樹、春を待ちわびる北海道の景色と空気をゆっくりご体験ください。



JALグループは、今後も地域との連携を一層強化し、地域の活性化に積極的に取り組んでまいります。

(別添)

◆北海道 余市・仁木ワインを楽しむ 2024 ～

JALプレゼンツ ドメヌ・タカヒコ メーカーズディナーとワイナリーツアー概要

設定日: 2024年3月2日(土曜日)発 1泊2日 と 2泊3日

出発地: 全国各地(航空機の利用が必須となります)

利用ホテル: JRタワーホテル日航札幌

食事: 1泊2日(朝食1回、昼食1回、夕食1回食事つき)、

2泊3日(朝食2回、昼食1回、夕食1回食事つき)

※ワインの提供は、以下施設となります。

1日目のJRタワーホテル日航札幌 夕食時

2日目のNIKI Hills Winery 昼食時

添乗員: 同行いたしません、現地係員がご案内いたします。

募集人員: 24名様 ※最少催行人員 12名様(催行決定は2024年2月15日(木)までに実施)

旅行代金(目安額): 178,000円 東京発

東京発(普通席)/JRタワーホテル日航札幌 1泊2日(朝/昼/夜)各1回食事つき

/モデルートツイン/2名1室利用

※金額は2024年1月18日 11:00 現在 大人お一人様あたりの旅行代金(目安額)です。

※航空機の空席や宿泊施設の空室状況により、ツアー代金は変動いたします。

※参加人数が最少催行人員に満たない場合は、旅行実施をとりやめることがあります。

申込先: <https://www.jal.co.jp/ja/domtour/jaldp/makers-dinner/pre/>

旅行企画・実施: 株式会社ジャルパック

余市町・仁木町DATA

北海道西部・積丹半島の付け根に位置する余市町・仁木町。
道内でも比較的温暖な気候の二つの町では、果樹栽培が盛んです。

余市町

面積/140.59km² 総人口/17,558人(2022年12月末現在)

面積の約67%が山林、約14%が畑地という豊かな緑に囲まれた町。りんごやぶどう、梨などの生産量は全道一を誇り、えび、うに、かれいなど海の幸にも恵まれています。近年では、カキ、ムール貝などの二枚貝の養殖に取り組んでおり、品質の高さで全国から注目を集めています。

仁木町

面積/167.96km² 総人口/3,073人(2022年12月末現在)

北海道南西部、積丹半島の付け根に位置し、さくらんぼ、りんご、ぶどうなどの果樹栽培、トマトやいちごなどの施設野菜、お茶の生産など農業を主産業とする上質な土と水に恵まれた、自然環境豊かな農村地域です。



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

